広報
いまがね

発行所　今金町役場
発行人　今金町長　安部義雄
編集人　今金町議会事務局長　戸沢定勝
印刷者　今金印刷所　内田益男

國民年金制度
正しい認識こそつて加入

拠出制國民年金制度受付開始以来、分かりにくい点や疑問に思う点についていつでもお答え致しますので、役場へお出のついでに、国民年金係へ寄つて戴ければ詳しく御説明いたします。又この広報をもつて広く町内にお知らせ致します。

今金町の場合、現在の人口一二、四三七人に対し、適用者四、〇七〇人でその内訳は、強制適用者、すなわち明治四四年四月一日から昭和十六年三月三十一日までの出生者が三、二七五人任意適用者で、明治四十五年四月一日から明治四四年三月三十一日までの出生者七九五人となつておりこの内、受付完了した者が約六〇人であまり良い成績ではありません。

一般の皆さんには未だ『拠出制國民年金制度』に対する内容の正しい認識が行きとどかないためこの様な状態にあると思いますので



拠出制年金の手続きは市町村役場で

◎保険料のかけすてはない

か

保険料を長い間納めていながら、途中で死亡などした場合、いままでの保険料がむだになるのではないかという点ですが、実際には、被保険者期間中の死亡も割合少なく、また、遺児年金とか寡婦年金として遺族が受とれる場合も多いことからこの様な心配は極めて少ないと云われて居ります。

國民年金制度は、老後人にたよらず、子供や孫に迷惑をかけることのないようにまた、さらに万一、身体障害者や、母子世帯などになつたときに備えるため国民の強い要望から生まれたものです。加えて、いままで年金制度からとり残されていた農漁民、商店員、零細企業の従業員、自営業者あるいは、家庭の主婦などの、いわば恩給としてできたものです。

加入の手続はごく簡単で役場え備え付けの一枚の用紙に記入し、捺印して提出すれば万事完了いたします未だ提出をすませていない方は、もれのないよういま直ぐにでも届出をして下さい。

健全財政の確立へ
税務行政に御協力を

町税の納付につきましては納税者各位の御理解と御協力によりその成績も逐年上昇しつつありまことに感謝に堪えません。

しかしながら本年度の滞納繰越額は今なお四百九十余万円を有し、その徴収年度分未納額十一月末現在で約七百五十万円を有する現況でこれは直ちに町の予算経理に影響することは云うまでもありません。

当町の作況も部分的には多少の不同はありましたが三年連続の平年作を上廻る作況で農家の経済も相当の好転を予想され、これに伴い必然的に町内商工業者の売上げもかなり上昇していることをうかがわれるのであります。町村住民の皆さんが豊かになることは、とりもなおさず、町村が豊かになり発展することになるのであります。この好機を反映させて、従来の滞納を納税者各位の自覚によつて一掃していただきたいのが吾々当事者の念願であります

当町もお蔭をもつて、財政再建、赤字解消計画も順調に進み、ここ一、二年をもつて解消の見通しを得ておりまことによろこばしいことではありますが、財政が軌道に乗れば乗るほど税務行政が重要な役割をなしてくるのであります。納税者一人々々がこれらのことを充分認識されその義務を完遂していただいたなら必ずや町民各位の御期待にこたえ得ると確信するものであります。

税金はただとられるものではないのです。形を変えて住民の皆さんに還元されるものであります。

本年も余すところ旬日に迫りました。納税者の各位につかれましては何かと忙殺されていることとは存じますが本年ここまでは以上のことを御考え合せ手内には是非とも完納され新年を迎えられるよう切に御願いいたします。

日ごと　家ごと　職場ごと
火の用心
危い子供の火あそび

十二月の納税
町民税　道民税　第三期
納期限十二月二十六日

12月1日 ～～ 25日
歳末たすけあい運動

みんなで明るい正月を　道民たすけあい運動に御協力下さい
今金町

◉納税強調週間

納税に便利な納税貯蓄組合

私たちの税金は数年前にくらべて少しづつ軽くなって居りますが、それでも『税金を納める』と云うことはたかなかたいへんなことで滞納したため差押えをされたとか暗い話がまだ絶えないようです。

どうにかして、そっとらくに税金を納めることができないものかとお考えになる方も多いことと思いますが、それにはふだんから心がけて、納期がきてもあわてずに納められるよう貯蓄をしておくことが第一でしょう。

しかし、なかなか勤めに忙しい人たちが納税のため年月欠かさず貯蓄をするということはなかなか実行できないものです。そこで出来たのが納税貯蓄組合です。

この組合は、納税をしやすいようにしたいという気持の人がお互い助けあい励まし合いながら納税準備資金をするという考え方からできたもので、だれでもいますぐでもつくることができます。

この組合は個人や会社、事業所などが一つの地域や勤務先などを単位にして作るまとめて知らず知らずのうちに、比較的らくに税金を納めることができるようにしようとするのが目的です。

この組合を作りますと、国、あるいは道、市町村から事務費などに必要な経費の補助を受けることができますし、預金に対する利子が高率であり、また所得税や資類などの印紙税もかからないという特典があります。

本道には現在一万百七十五の納税貯蓄組合がつくられており、組合員も二十九万九千余に及んでおります。

これらの組合員の納税成績は大変よく、毎日わずかづつの貯金をするだけで、滞納もせず納期がきてもあわてずに納税できるわけです。

組合をつくりたいと考えられる場合は、だれかが世話役になり組合に加入する人を集め、手続きその他について税務係に問合せるようにして下さい。

税金をらくに納め、安心して家族の繁栄をはかるためには、一日も早く納税貯蓄組合に加入することが必要です。

納税貯蓄組合に加入してお互いに助け合い励まし合って納税し、みんなでよい組合に育てあげましょう。

昭和35年度国勢調査結果まとまる

前回に比し91名減

今年の十月一日現在で全国一斉に行なわれた国勢調査の果結がこの程まとまりましたのでお知らせ致します。

1 人口

男　六、二一七人
女　六、二一〇人
計一二、四三七人

2 世帯数

二、四一九世帯

右のうち準世帯数

一一一世帯

以上昭和三十五年度の結果ですが昭和三十年度の調査と比較しますと、男で四五名減、女で四六名減、合計九一名が減っております。

歳末警戒

歳末の犯罪を防ぎましょう

毎年、歳末には、窃盗をはじめ、暴行、サギ横領などの知能犯が増加し、さらに殺人、強盗などの兇悪犯罪も多発する傾向がありますが、これは、一年の総決算期に当り社会一般がせわしく浮かれた気分になりがちで、このような状態が犯罪発生の絶好の温床となっているからでしょう。

警察では、例年、歳末防犯運動を行なって犯罪の防止に努めていますが、一般の人々もこの運動に協力して、次のような点をよく守り、被害にかからないようにしてください。

①戸締を完全にすること。

特にねらわれる侵入場所は、玄関、勝手口、その他の出入口、縁側、座敷の窓、二階の窓、便所の窓等です。

②留守にするときは、戸締りを厳重にした上、隣近所によく頼んでおくこと。

③夜間は暗い場所の一人歩きはさけ、追いはぎ、たかり、ち漢などにねらわれないようにする。

④青少年に飛出しナイフなど危険な刃物類を持たせないこと、刃物を持ち歩いていたため、ささいなことで人を死傷させた青少年の犯罪や非行が増加しています。

不良色素にご注意下さい。

夏は割合に注意されていますが、冬になると食品の保存や取扱いがおろそかになりがちです。

例年、許可されていない不良色素などが、かまぼこなどの魚の加工品や、らくがん、あめ玉などの菓子類の着色に利用されていることが多いので、けばけばしい鮮かな色で着色された食品に注意しましょう。

粗悪原料を用いた加工食品が安価に販売される場合がありますので、買物は信用のある店でし、特にかん詰めなど表示の必要なものは、たしかめてから買うようにしたいものです。



自衛官を募集

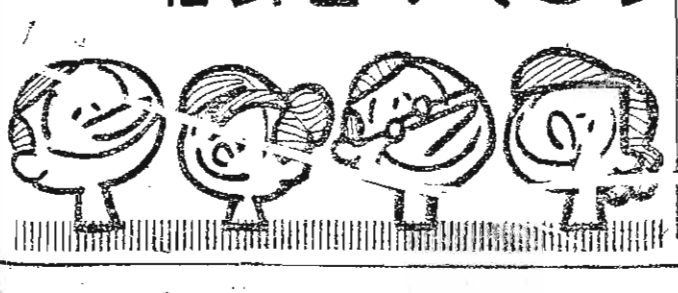
第四次

防衛庁では昭和三十五年度最後の第四次二等陸海空士の募集を行なっております。

1 受験資格は昭和三十六年三月三十一日現在で、十八歳以上二十五歳未満の男子。

2 募集の方法は、各地区の募集事務所まで問合せ下さい。

3 申込期間は明年一月五日から二十六日までです。



地しん、雷、火事、親父より もっと恐ろしいもの？

昔から恐ろしいものは、地震、雷、火事、親父といわれてきました。

火事の恐ろしいことは、昔も今も変りはありませんが、現在では何んと云ってもその次は交通事故ではないでしょうか。

今は昔と違って、親より子供の方が恐ろしいくらい民主々義の世の中です。

この外に恐しいものといえば人殺しがあります。これも日本全国で一ケ年に約五、〇〇〇人が殺されておるのです。しかし交通事故で死亡した人は昨年一ケ年に一万人以上、今金町全人口の七〇％の数に当てはまり負傷者は二三万人以上で、函館市の全人口に匹適する数であります。

これを一日に平均しますと、日本のどこかで交通事故で死んだ人は二八人ずつけがをした人はなんと六三二人ずつあることになります。

が今年はこの数をでんと上回り一日に三〇人以上の人が死んでおります。

しかし、人殺し等があると非常に恐ろしがり、一年も二年も頭にしみこんで忘れない人でも、交通事故で死んだとか、毎日のように新聞やラジオで報道されても、あまり関心はもたないようです。そのときだけは、かわいそうなことをしたとか、運が悪るかったのだ等と申しますが、しばらくたつとあとはすっかり忘れています。

また、交通事故を恐れる人でも、交通法規を守るとか、交通道徳に従うとか、対面交通がたいせつだという気持は案外少ないのであります。これは日本人の最も悪いくせであって、自動車に誤かれて大怪我をしてから目をさましたのでは遅いつかないのです。

交通事故が起きると運転者が悪いと口を揃えて悪口をいいますが、たしかに運転手の中には技術の未熟なものや習慣、マツハ族等法規を守らないものがたくさんいて、交通事故の大きな原因になっている事は事実です。

しかし、全部の事故が運転者の責任とはいえないと思います。

歩く人が道路の左側を通ったり、車道を平気で歩いたり、自転車に二人乗りしたり、交通信号に従わなかったり、危険な交通は数え上げれば限りがありません人殺しに殺される人も、交通事故で死ぬ人も、人の命の尊さに変りありません

人殺しはもちろん恐ろしいが、その数倍も被害者の多い交通事故は、もっと、もっと恐ろしいものといえましょう。

この恐ろしい交通事故もその原因は交通のきまりを守らない人がいるため起るのですから、交通のきまりに違反する者のないようにしなければなりません。

違反者をなくするには、取締を強重にすることもたいせつです。しかし、取締るだけでは完全とはいえません。道路を通る人の全部が法に定められたことをよく知り、これをよく守らなければならないのです。

この法の内容をよく知りよく守って地震、雷、火事親父より恐ろしい交通事故をなくするように努力いたしましょう。

（北海道交通安全協会）

車は左、人は右
皆んな守つて
事故防止

12月1日現在
農業委員選挙人名簿を調製

今金町農業委員会選挙人一方は、昭和三十五年十二月一日現在今金町に住所を有し、昭和三十六年三月三日で満二十才以上で三反歩以上の耕地を耕作している世帯主及びその世帯主と同居している親族であり且つ、過去一ケ年間に六十日以上耕作に従事していなければなりません。

◎記載上の注意

1 これは申請に基ずいて資格調査の上名簿に登載されるもので、名簿になければ投票ができません。

2 この申請書の記入事項はすべて三十五年十二月一日現在の状況を記入するものですが、年令については、昭和三十六年三月五日をもって二〇才以上の方を記入して下さい。

3 この申請書に登載される一日現在今金町に住所を有し、昭和三十六年三月三日で満二十才以上で三反歩以上の耕地を耕作している世帯主と同居している親族であり且つ、過去一ケ年間に六十日以上耕作に従事していなければなりません。

4 三反歩以上の農地を耕作している世帯主であれば、本人が六十日以上耕作に従事していなくても、選挙権があります。5 臨時していても親族でなければ選挙権がありません。

即ち昭和三十五年十二月一日現在で入籍されていない妻、嫁等は選挙権がありません。

冬休み中の子どもの生活

十二月下旬から全道の学校は一せいに長い冬休みに入るが、この期間は年末年始という特別な時期にもまたがつていますので、子どもの生活指導にはとくに、気をつけましょう。

㈠親たちは、年末年始の忙がしさに気をとられて子どもを放任したりしないこと。

㈡一日に一度はつとめて一家のくつろぐ時間を作ること。

㈢忙がしいときなどには子どもの能力にふさわしい仕事を与え、仂くよろこびと自信を持たせるようにし、子どものした仕事に対しては、ねぎらいと励ましを忘れないようにすること。

㈣こづかいの使い方にもよく気を配るようにし、その使い方についてもなるべく自然の会話の中で指導するようにする。

㈤交通と安全には十分注意し、道路上のスキー、スケートなどは絶対にやめさせるように。

㈥スキーなど、冬のスポーツで外出することも多くなりますが、帰宅時間と同伴等をはつきりさせること。

体の不自由な人え職を

職業安定所では、一人でも多くの人をよい職につかせてあげたいと努力しておりますが、昨年では二百三十人の就職をお世話しました。体の不自由な人の就職にはむずかしい問題でありますのでこれを解決するために、今度の国会で身体障害者雇用促進法が成立し、今までよりもさらに進んだ方法をとることになりました。

この人たちのために、みんなが心をあわせて、仕事を与え、しあわせにしてあげたいものです。

